



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

令和元年10月発行
発行元 NPO法人 ユーアンドアイ
発行責任者 佐藤真智子

ハローユーアンドアイ

第85号

私たちは・・・

歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、
心豊かに暮らしていける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

☆ 温かくてドライな地域社会 ☆ を目指しませんか！！

来年には東京オリンピックがあり、その5年後に社会問題として心配されているのがいわゆる2025年問題(団塊の世代が後期高齢者なる)です。

少子高齢化のもと、社会保険・介護保険・医療保険等が膨らみ高齢者福祉を全て公助に委ねるのが、ほぼ困難となるのが現実的な課題です。病院も満杯で入院出来ず、施設は重篤な人に限定され、自宅で暮らすための頼みの綱のヘルパーさんも人材不足でままならずと考えると、私たちの今後には不安・心配が募るばかりです。

そんなときに頼りになるのが地域のご近所さんです。困ったときには“お互いさま”とさっぱりして
いて温かな人間関係が構築されていけば心強い筈です。

2025年問題を乗り切るため今から自助・共助の取り組みを進めていくことが、とても大事と痛感
しています。(佐藤)

・・・会員さんから・・・

リレートーク

・・・会員さんへ・・・



野澤 敦子さん「さわやかな笑顔」



年々暑さが厳しくなる日本！あ～暑い!!と1日何度言ったことか。
1日中エアコンが効いている部屋で過ごしていると足が痛くなったり、
だるくなったり。でも外はうだるような暑さ。



そうだ、前から気になっていたカフェに行ってみよう！と笠間までドラ
イブがてら行ってきました。とりあえず笠間神社でお参りし、本に載っていたそのお店を探した。
あった！ここだ～！ドキドキしながらドアを開けると「いらっしやいませ」とやさしそうなマダ
ムが出迎えてくれた。笠間焼のプレートに彩り良く並べられたランチとコーヒーをゆっくりと味
わった。食器は全て笠間焼のようだ。そろそろ席を立とうとすると「もしよろしかったら」とデ
ザートをサービスしてくれた。本を見て来たことを告げると、マスターもキッチンから出て来ら
れお礼を言ってくれた。そのあと笠間焼のお話で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことが
できた。何より、マダムの笑顔がさわやかで「またいらして下さいね」
と手を振り見送ってくれ、外の暑さも忘れさせてくれるようだった。



そろそろホットコーヒーが飲みたくなる季節。本を持ってお気に入りの
カフェをみつけにいこう。

☆ ほのか と ぱれっと の合同企画 ☆

夏休みに、“ぱれっと”(放課後等デイサービス)と“ほのか”(高齢者予防デイサービス)の合同企画として夏祭り・昼食会・避難訓練を実施しました。夏祭りの準備担当、室内の飾りつけ・ボウリングゲームはほのかのみなさん、ヨーヨー釣り・輪投げ・お神輿作りはぱれっとが担当しました。当日は世代を超えて、みんなニコニコしながら楽しむことができました！ (木島)



☆ ぱれっと音楽会 ☆

8月20日(火)、ぱれっとの音楽会がありました。子どもと音楽を楽しみたい！という音楽仲間のご協力のもと、盛大な音楽会となりました。

初めて手にする本物のギターに大喜びする子や体を揺らしリズムをとってノリノリにダンスする子、マイクを片手に歌う子などステージとの境界線なんて感じられないほど、みんな



で楽しんでいました。

音楽って不思議な力があるんですねえ～。部屋中が一体となり、みんなを笑顔にさせる不思議なパワーに驚きました。

「今度はいつ来てくれるの？」と早くも次回を楽しみにしているぱれっとの子供達でした。

(木島け)



☆学校支援員☆

「運動会」

9月29日、支援に入っている3つの小学校で運動会が行われました。当日は雨が心配されていたものの、途中からは日射しがジリジリと照りつけるほどの日でした。その中7名の支援員の方たちが頑張ってくれました。



毎年、支援員も子供たちに付いて、運動会に丸一日参加します。担当する支援員は練習の時から、自分がどのように振舞えば支援している子供たちが一番その子らしく運動会に参加できるのかを考えながら種目に取り組みます。

徒競走、団体戦、ダンス、それぞれでその子達が、その子自身の出来る限りの力を出せるような場作りを学校の先生とともに練習ごとに試行錯誤を繰り返します。普段1人のお子さんには5人ほどの支援員がグループになって支援に当たっています。運動会に参加出来るのはその中の1人。練習の中で積み重ねたすべてを、当日の担当者に託します。



夏休み明けから連日30度を超えるグラウンドで練習を繰り返してきた支援員の皆さん本当にお疲れ様でした。保護者の方々の「笑顔で参加しました」と言う、一言が本当にうれしいですね。きっと素敵な思い出の1ページを作る手助けが出来たと信じています。

すべての支援員の方々ありがとうございました。(飯嶋)

☆介護ステーション☆

介護ステーション便り

介護ステーションでは、月1回テーマを決め、研修会を開催しています。9月は「防災対策」をテーマに研修会をしました。

知っておきたい防災対策として高齢者の方が

用意しておくの良いものをまとめました。



1、非常用介護食、とろみ剤

災害時に支給されるおにぎりやパンは、誤嚥(ごえん)の危険性があり、食べやすい非常用介護食を備えたり、その他お水やお茶にとろみをつける「とろみ剤」を準備しておくことで誤嚥予防になります。

2、常備薬とお薬手帳

災害時は、薬がすぐに手に入りにくい状況になる可能性もあるので常備薬(7日~14日)とお薬手帳を準備しておくことが大切です。

3、リハビリパンツやパットを多めに

災害時は水が使えないのでトイレが使いにくいこともあり、リハビリパンツやパットを多めに準備しておくことで良いでしょう。ダンボールの箱の中にビニール袋を入れリハビリパンツやパットを敷くと簡易トイレとしても使えて後始末も簡単です。

4、車いすや杖、おんぶ紐などを用意しておくことで災害時の避難場所への移動に役立ちます。

5、電動ベットやエアマット、人工呼吸器、吸入器などの停電時の対応を確認しておくことも大切です。

20周年記念事業の実行委員を募集します

10月で20年を迎えるユーアンドアイです。会員さんから20周年記念事業の企画と一緒に考えてくださる方を募集します。

- 条件
- ・定期的な打ち合わせに参加できる方
 - ・送迎はしませんので自分で来られる方
 - ・ボランティアですので謝礼はありません



興味のある方は事務所、佐藤まで！

《ユーアンドアイの動き》 7月～9月

7/4	ぱべ会(ぱれっと保護者対象勉強会)	8/19	職員会議
	市民協働推進委員会	8/24	介護ステーション・ほのか研修会 & 食事会
7/12	労基署研修会(木島)	9/6	包括支援センター勉強会
7/17	職員会議	9/13	事連協役員会
7/20	介護ステーション・ほのか研修会	9/9～10	生きがい・助けあいサミット in 大坂
7/21	支援員 食事会	9/20	職員会議
7/25	市民協働推進委員会	9/21～23	茨城県自閉症児・者支援専門職員 養成研修会
7/26	ぱれっとお祭り外出		
8/5	教育委員会との話し合い(飯嶋)		
8/8	市民協働推進委員会		

※学校話し合いは定期的にケースごとに行っています。

～事務所からのお知らせ～

〈チケット払い戻し〉

お手元にチケットがありましたら払い戻ししますのでご連絡ください。

〈草刈りのお願い〉

11月30日(土) 9:00～事務所の草刈りをします。ご協力できる方はよろしく願います。



編集後記

茨城県で開催された国体。龍ヶ崎では柔道競技が開催されました。茨城県の選手はもちろん各都道府県の選手たちの応援もでき、充実した日々となりました。

スポーツの秋！体を動かすにも観戦するにもちょうどよい季節となりましたね。(K×2)

NPO 法人ユーアンドアイ

〒301-0845

茨城県龍ヶ崎市奈戸岡 2-195 番地

電話(平日 9:30～17:00) 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <http://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp